

参考資料

見附駅周辺まちづくり協議会

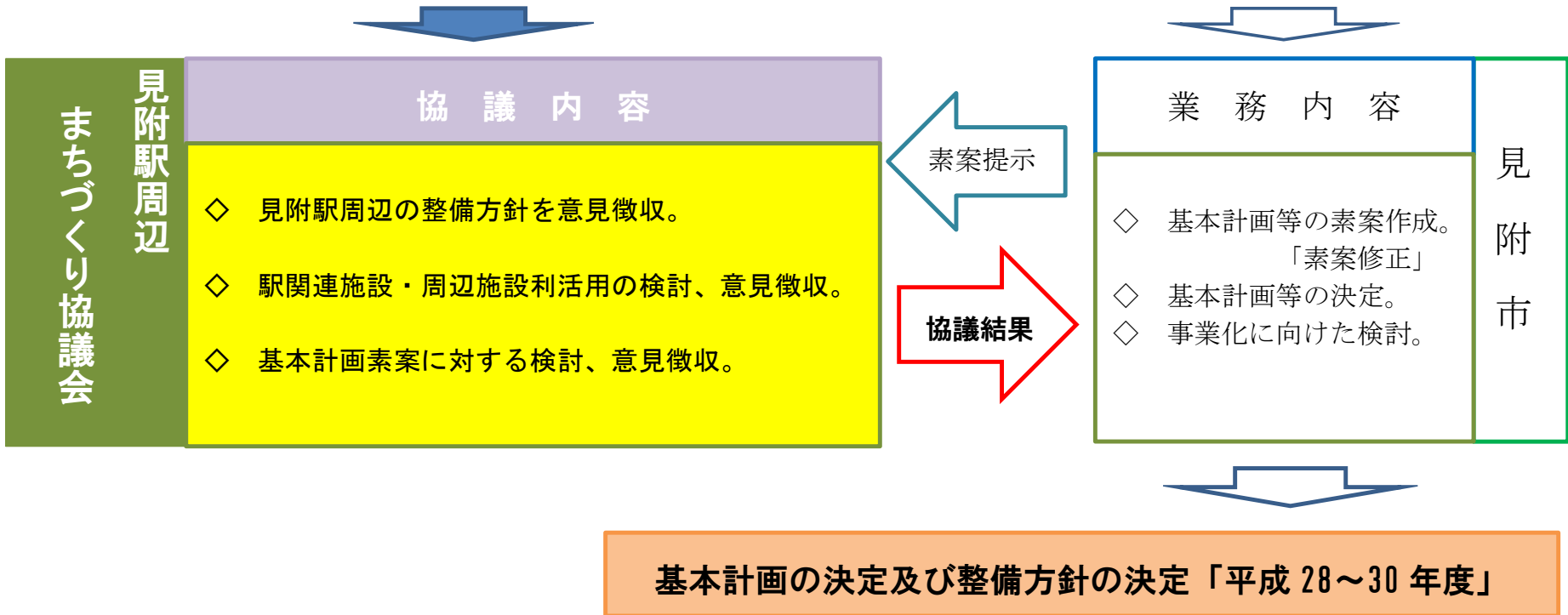
第1回

平成29年 2月23日

1 見附駅周辺まちづくり協議会

目的

- 見附駅周辺整備を進めるために計画の作成および事業化を検討する。⇒「見附市」
- 広く意見を聞くため、学識者・市民代表・関係機関等からなる「見附駅周辺まちづくり協議会」を立ち上げる。



2 見附市のまちづくり

「スマートウェルネスみつけ」の実現

～住んでいるだけで健康で幸せになれるまちを目指して～

まちづくりの目標

◆人と自然が共生し健やかに暮らせるまちづくり

- 日本一健康なまちづくりを目指す。
- 花と緑のある暮らしの創設を目指す。

◆安全安心な暮らしやすいまちづくり

- 地域の安全安心の確保に取り組む。
- 歩いて暮らせるまちづくりの取り組み。
- 利便性の高い交通体系づくりの推進に取り組む。

◆人が育ち人が交流するまちづくり

- 市民と行政の協同を推進する。
- 交流を広げ深める取り組みを推進する。

「コンパクトなまちづくり、公共交通ネットワークの充実」

〈参考〉 地域活性化モデルケース「地域再生計画」

【施策6】 総合的な住み替え 施策の推進

・世代別のライフスタイルに応じた住居の住み替え、転居を誘発する住宅施策

【施策5】 地域包括ケアシ ステムの構築

・自立生活の支援のもと、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができる体制を整備

【施策4】 中心市街地の活 性化

・商店街の活性化、まちの活力と賑わいの回復、出かける目的地の整備、交流拠点の整備

【施策3】 地域公共交通の再 生

・各ゾーン間の円滑な移動を確保した公共交通等の整備

【施策2】 持続可能な集落地 域づくり

・コミュニティ維持に向けた集落生活圏の土地利用計画と小さな拠点の整備

【施策1】 コンパクトシティの 形成と誘導

・インフラ整備・維持更新エリアの拡大抑制、生活サービスの集中、コミュニティの維持、効率的な土地利用

まちづくりの目標：スマートウエルネスシティ

[SWC]

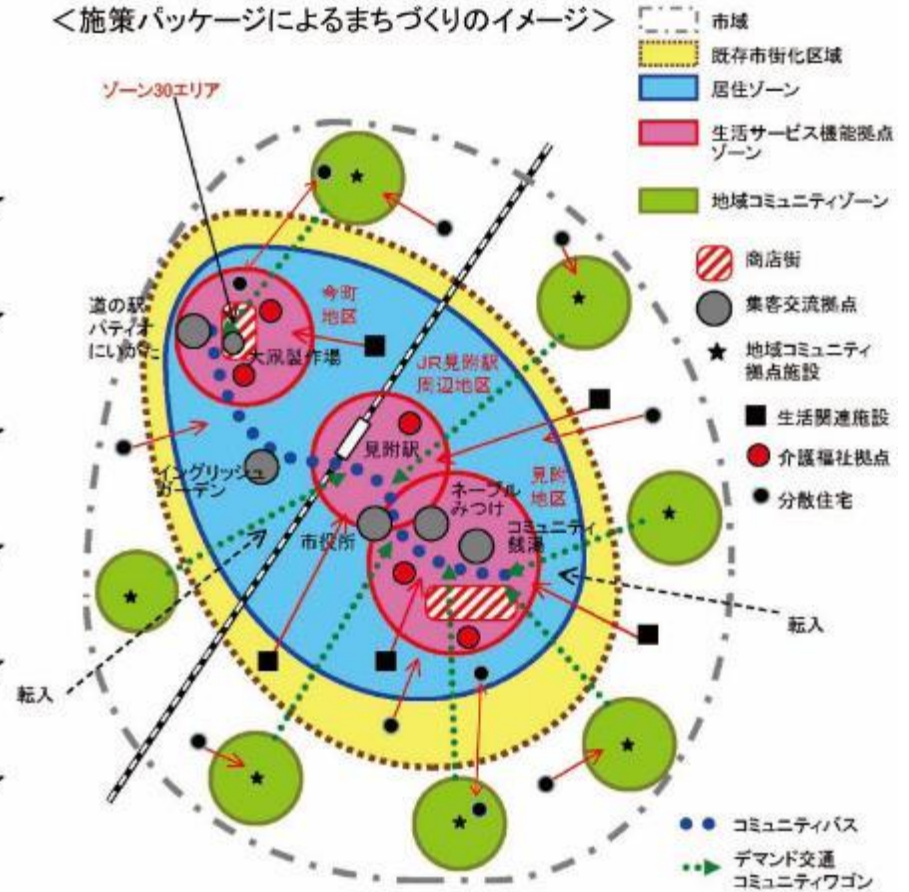
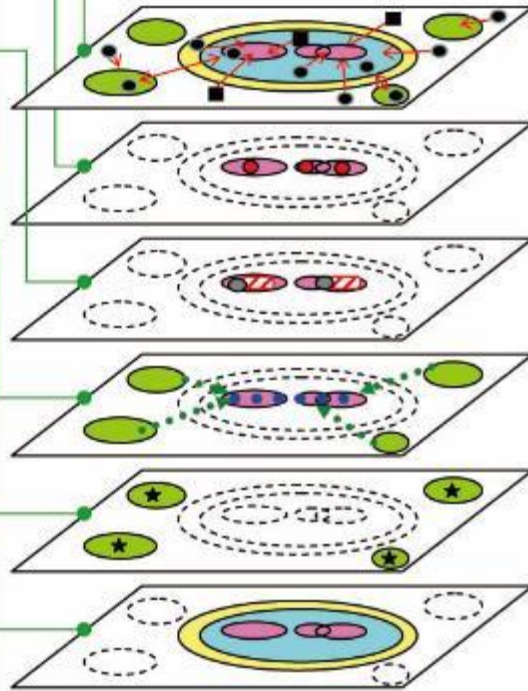
健幸まちづくり

の推進

将来像：
 ■自然と歩ける楽しいまち
 ■住民が健康・まちが元気
 ■来訪者と交流するにぎわいのまち

〈施策パッケージのイメージ〉

〈施策パッケージによるまちづくりのイメージ〉



3 見附駅周辺の現状と背景

見附駅の現状

1日平均乗降人数 約 4千400人

- ① 見附駅前広場とその周辺は、朝夕の通勤通学時に自家用車が殺到し、人と車の混雑とニアミス状態が続き危険な状況である。
- ② 国道や大規模住宅街の形成等発展を遂げる見附駅西口側に相応しい施設となっておらず、駅東西を往来する地下道は性質上人通りが少なく敬遠され、西口からの改札口が無く東口（駅前）まで回って乗り降りしている現状である。
- ③ 見附駅周辺（東口・西口）利用者の大半は朝夕の通勤通学者に限定され、この時間帯以外人通りも少なく閑散とした状態である。

見附市の背景

- 市外からの転入者アンケートで、見附市を選んだ一番多くの理由は「通勤通学が便利」という回答であった。

3 見附駅周辺の現状

駅前（東口）広場夕方の混雑状況



3 見附駅周辺の現状

バス停に駐車する自家用車



駐輪場の2階部分を利用しないで、隣接地の土地を無断使用している自転車



西口へのアクセス状況が悪く、歩道もない市道



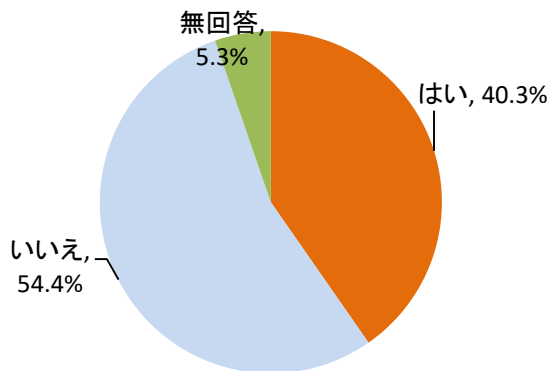
西口側は大規模な住宅街を有し、国道8号にも近く、イングリッシュガーデンにも近いが、改札口が無く、活気がない。



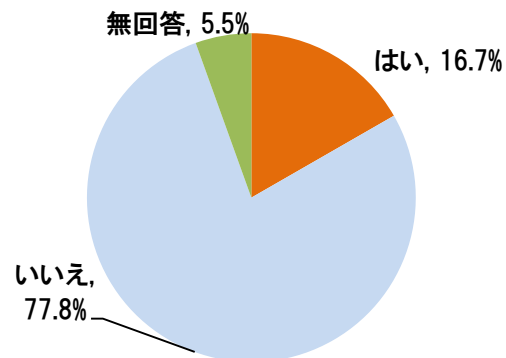
3 まちづくり市民アンケート調査「駅周辺について」

平成28年11月現在で、市内全域の市民で20才以上から無作為に1000人を抽出して調査したもの。

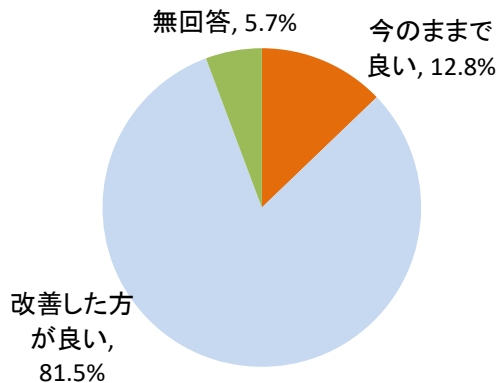
見附駅は公共交通として役割を十分果たしていると思いますか。



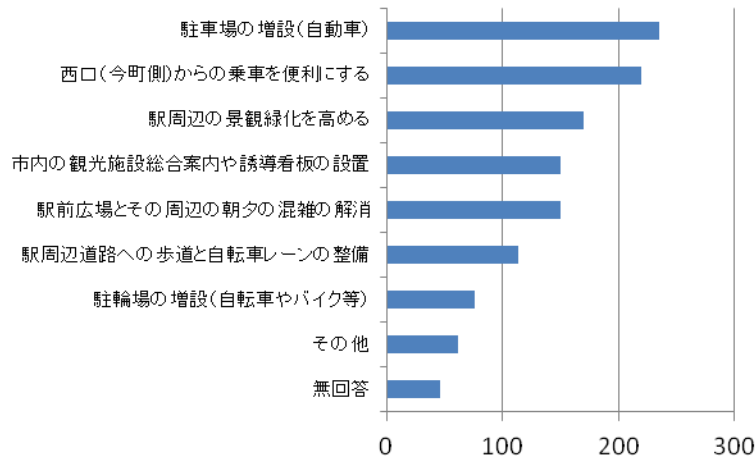
駅、駅前の機能としてこのままでいいと思いますか。



見附市の玄関口として、駅前の雰囲気をどう思いますか。



駅や駅前をより便利に、気持ちよく使えるようにして行くためには、具体的にどのような改善を行う必要がありますか(複数回答)



4 見附駅周辺整備 (1)整備目的

スマートウェルネスシティ

歩いて暮らせるまちづくりの交流拠点機能の強化・誘導

「第5次見附市総合計画・立地適正化計画・地域公共交通網形成計画に位置付け」

① 見附駅東西口広場の安全性・利便性の向上

「朝夕通勤通学時の見附駅（東口・西口）広場と周辺道路の混雑解消のための整備改善。」

② 見附駅利用者の利便性及び西口通行の向上

「発展を続ける見附駅西口周辺を整備改善し活性化させ、併せて駅東口西口の通行を便利にし、西口側からより近い場所で乗り降りできるようにする。」

③ 市の玄関口としての駅の景観向上と賑わい創設

「市の玄関口としての見附駅周辺（東口・西口）の景観を高め、併せて人が集まり交流できる賑わいの場を創設する。」

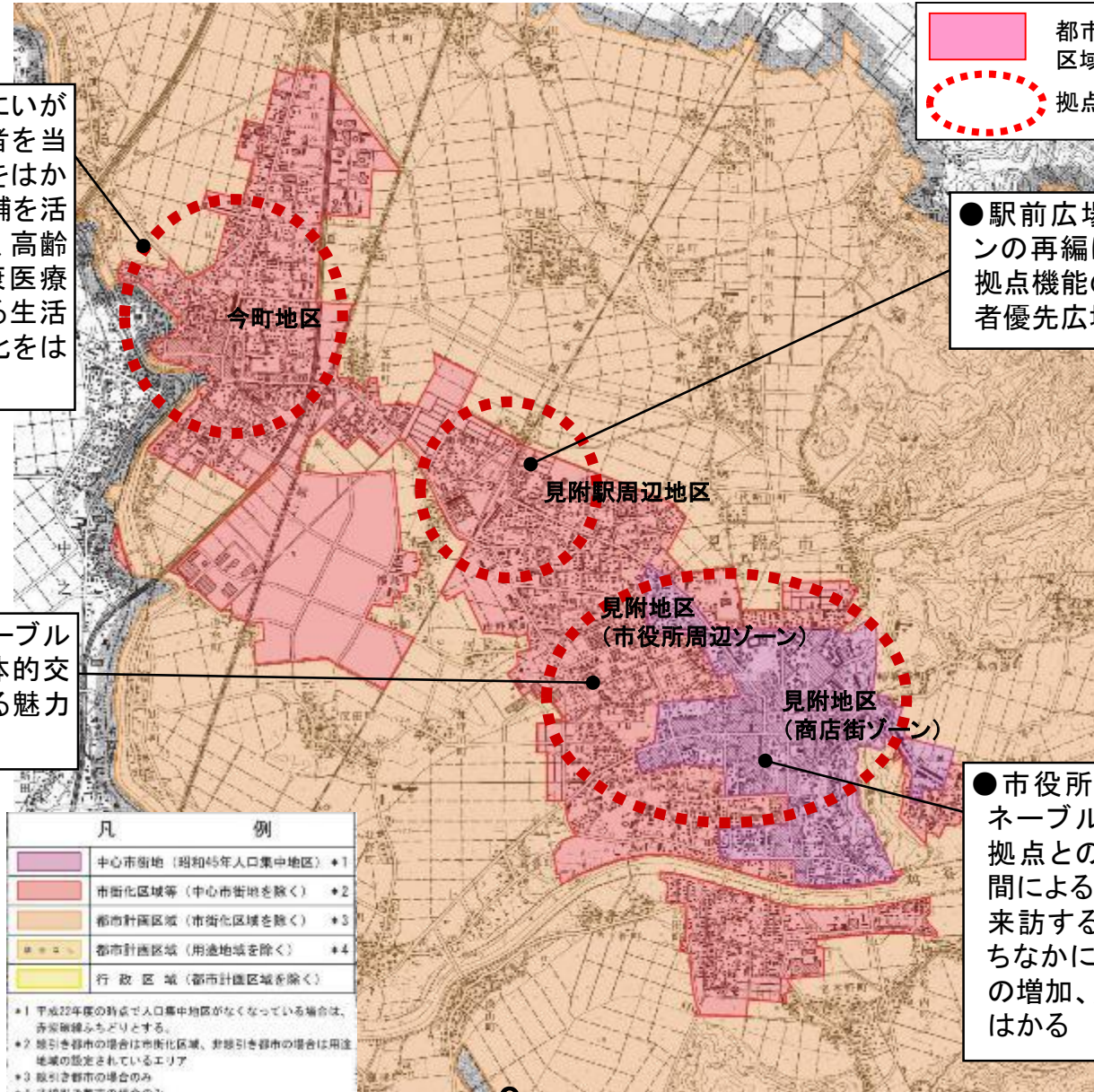
〈参考〉 見附市 拠点地区都市整備方針

●「道の駅・パティオにいがた」の広域圏来訪者を当地区商店街へ誘導をはかるとともに、空き店舗を活用したデイサービス、高齢者交流サロン、健康医療福祉等の活用による生活サービス拠点の強化をはかる

●市役所ゾーンとネーブルみつけゾーンの一体的交流空間の再編による魅力向上をはかる

●駅前広場及び隣接ゾーンの再編による公共交通拠点機能の強化及び歩行者優先広場化をはかる

●市役所、文化ホール、ネーブルみつけ等の各拠点との快適な歩行空間による回遊性を強化し、来訪する市民・住民をまちなかに回遊し、歩行者の増加、賑わいの回復をはかる



凡	例
	中心市街地（昭和45年人口集中地区）※1
	市街化区域等（中心市街地を除く）※2
	都市計画区域（市街化区域を除く）※3
	都市計画区域（用途地域を除く）※4
	行政区域（都市計画区域を除く）

※1 平成22年度の時点で人口集中地区がなくなっている場合は、赤線図録もどきとする。
 ※2 緑引き都市の場合は市街化区域、非緑引き都市の場合は用途地域の設定されているエリア
 ※3 緑引き都市の場合のみ
 ※4 非緑引き都市の場合のみ

4 見附駅周辺整備 (2) 整備の方向性(素案)

- ① 見附駅東西口広場の安全性・利便性の向上
- ② 見附駅利用者の利便性及び西口通行の向上
- ③ 市の玄関口としての駅の景観向上と賑わい創設

【全体計画】 H30～H39
見附駅「東口・西口」周辺施設整備
見附駅「東口・西口」アクセス道路整備

②【駅西口周辺整備計画】

駅西口広場改築
送迎駐車場
駐輪場
景観グレードアップ

①【駅東口周辺整備計画】

駅東口広場改築
送迎駐車場「雨水貯留槽」
駐輪場
景観グレードアップ

③【駅東西道路往来化整備計画】

改札ラッチ
自由通路

イングリッシュガーデン

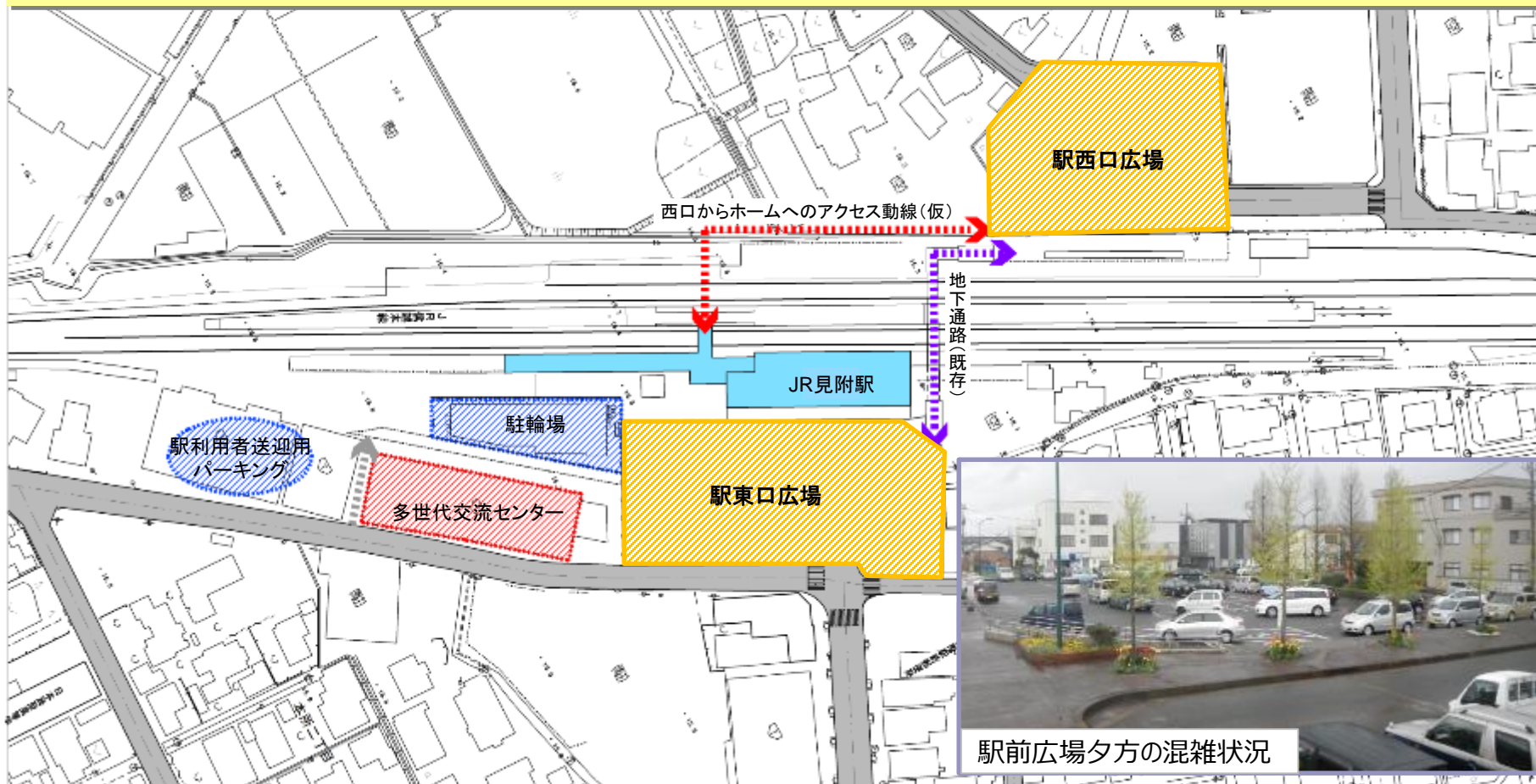
⑤ 駅西口アクセス道路整備

⑥ 多世代交流センター改築

④ 駅東口アクセス道路整備

4 見附駅周辺整備 (2) 方向性(素案)イメージ図

- ① 朝夕通勤通学時の見附駅(東口・西口)広場と周辺道路の混雑解消のための整備改善。
- ② 発展を続ける見附駅西口周辺を整備改善し活性化させ、併せて駅東口西口の通行を便利にし、西口側からより近い場所で乗り降りできるようにする。
- ③ 市の玄関口としての見附駅周辺(東口・西口)の景観を高め、併せて人が集まり交流できる賑わいの場を創出する。



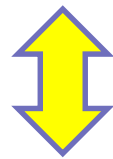
4 見附駅周辺整備 (3) 施設整備方針

駅周辺の利便性を高め 安全に通行するため整備が必要な施設

優先的に取り組むべき事業

① 見附駅東口(駅前)主要な施設整備

- ◆ 駅東口広場整備改築
 - ・ バス待合停留所・歩行者誘導シェルター
 - ・ 駅東口周辺景観緑化グレードアップ
- ◆ 駅東口駐車場 (駅施設) 兼雨水貯留槽 (防災施設)
- ◆ 駅東口駐輪場改築



④ 駅東口アクセス道路(道路事業)

- ① 市道本所千刈線道路改良

今後予定される事業

② 見附駅西口(駅裏)主要な施設整備

- ◆ 駅西口広場整備改築
 - ・ バス待合停留所・歩行者用誘導シェルター
 - ・ 駅西口周辺景観緑化グレードアップ
- ◆ 駅西口駐車場
- ◆ 駅西口駐輪場改築

③ 見附駅東口・西口 往来施設整備

- ◆ 改札口ラッチ
- ◆ 東口と西口の自由通路

⑤ 西口アクセス道路(道路事業)

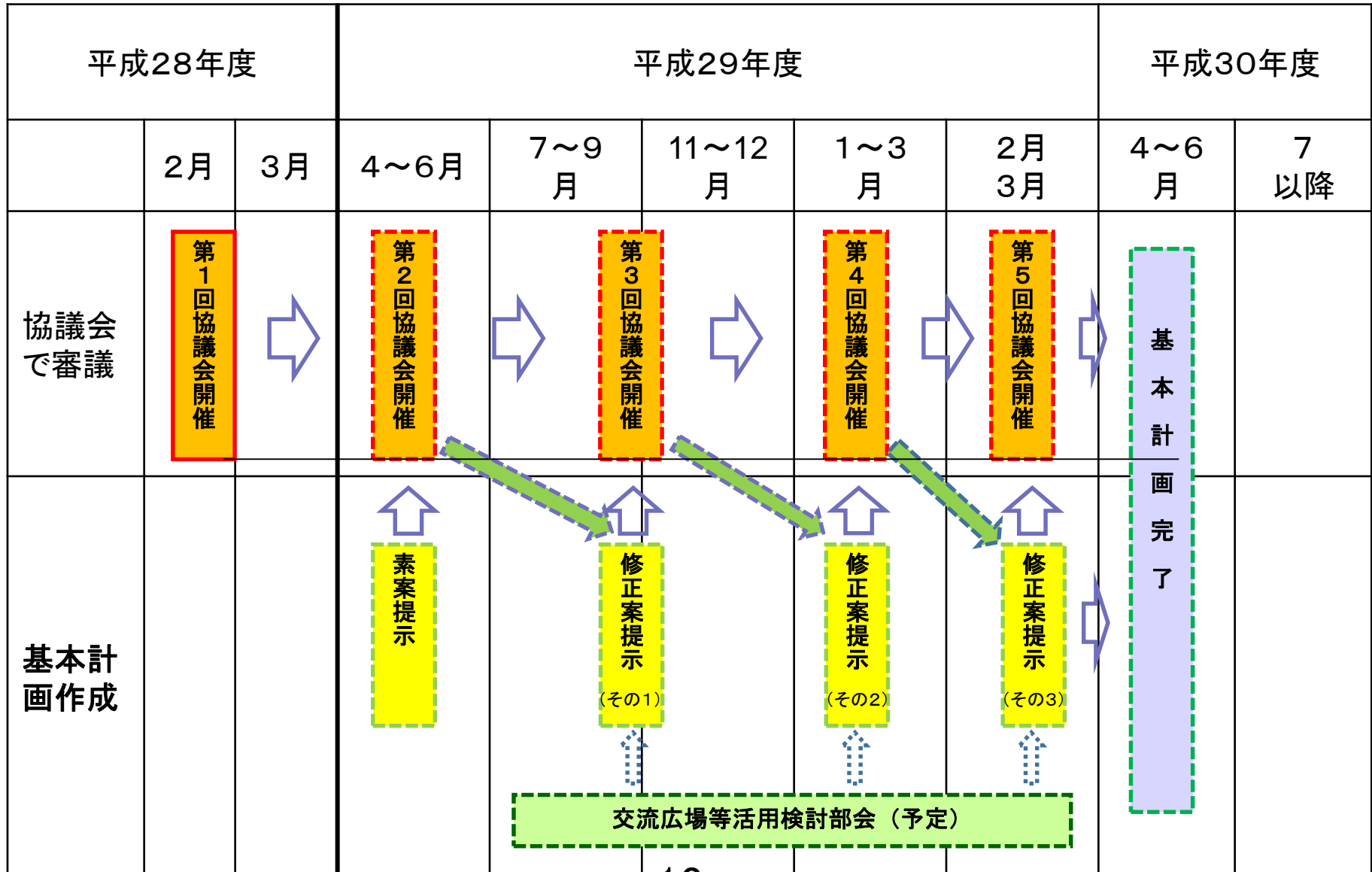
- ◆ 市道アクセス道路改良
- ◆ 市道アクセス道路グレードアップ

⑥ 見附駅東口施設整備

- ◆ 東口多世代交流センター

5 スケジュール

見附駅周辺まちづくり協議会と基本計画作成 スケジュール(見込み)



5 その他

信越本線・見附駅及び駅周辺整備の経過と今後の予定

- 明治31年 北越鉄道(後の信越本線)が開業。
- 同 年 北越鉄道開業と同時に見附駅が設置された。
- 昭和33年 現在の駅舎に建て替えられ現在に至る(筑後58年が経過)
- 昭和58年 見附駅地下道開通(地下道は57年完成だが東西広場が出来てなく開通は58年となる)
見附駅前(東口)と西口(駅裏)側を結ぶことで、今町方面からの利用が便利になった。
- 同 年 見附駅前広場完成「約800㎡から約3200㎡に拡張」
当時越後交通のバスが駅前広場に乗り入れできなかったが、拡張し乗入が可能となった。
- 同 年 見附駅西口広場完成「約2800㎡」
今町方面からの利用が便利になった。
- 昭和61年 見附駅前駐輪場(2階建)が完成。
駅前周辺の民営有料駐車場若しくは遠隔地の公営駐輪場から、駅舎に近い駐輪場完成により便利になった。
- 平成24年 見附駅前広場の景観を高めるための部分的緑化工事の実施(まちづくり交付金事業・見附駅周辺
～25年 地区整備で施工)
- 平成26年 見附駅前動線見直しの検討(学識経験者・交通関係機関・駅利用代表者・周辺地域市民代表者)
- 平成27年 見附駅周辺整備方向性の検討。
～28年

- 平成28年 学識者・市民代表・関係機関からなる「見附駅周辺まちづくり協議会」を立ち上げ、多方面からの
～29年 意見を取入れ計画に反映させる。
見附駅周辺整備基本計画等策定委託。